



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月3日

上場会社名 株式会社幸楽苑ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7554 URL <https://hd.kourakuen.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井田 昇
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 渡辺 秀夫 (TEL) 024-943-3351
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,167	△31.8	△1,315	—	△1,239	—	△1,046	—
2020年3月期第3四半期	29,589	△4.6	439	△71.9	610	△59.3	△96	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △1,000百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △42百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△69.61	—
2020年3月期第3四半期	△6.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,230	2,944	17.1
2020年3月期	15,356	3,933	25.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,944百万円 2020年3月期 3,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	0.00	10.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△26.8	△900	—	△850	—	△950	—	△63.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	16,774,841株	2020年3月期	16,774,841株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,739,523株	2020年3月期	1,749,255株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	15,029,981株	2020年3月期3Q	15,046,251株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. その他	9
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等	9
(2) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により厳しい状態にあり、依然として先行きが不透明な状況で推移しております。

外食産業においては、4月発出の緊急事態宣言を受けて、営業時間短縮や休業及び外出自粛による来店客減少の影響で売上が減少しました。緊急事態宣言の解除後、Go To Eat キャンペーン等の施策により、持ち直しの動きがみられたものの、感染者数再拡大を受けた営業時間短縮要請や外出自粛要請により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような経済環境の中、当社グループはイートイン中心の外食産業から総合食品企業への変革を目指し「デリバリー、テイクアウト等の中食産業での売上割合を高める施策」や「法人営業の強化」等の施策を実施しております。また「コミットメントライン契約の締結による運転資金の確保」により財務基盤の安定化を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は20,167百万円(前年同期比31.8%減)、営業損失1,315百万円(同営業利益439百万円)、経常損失1,239百万円(同経常利益610百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,046百万円(同親会社株主に帰属する四半期純損失96百万円)と減収減益となりました。

また、当第3四半期連結会計期間末のグループ店舗数は、460店舗(前年同期比32店舗減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んで表示しております。

① ラーメン事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休業・限定営業の影響を受けながらも、ラーメン事業においては、新たなメニュー「幸弁」(幸楽苑弁当)を含む店舗メニューのテイクアウト、タクシーによる出前や自社デリバリーサービスの開始、ドライブスルー、タブレットセルフオーダーシステム、配膳ロボットの導入及び朝食メニューの拡大導入等の施策を実施しました。

店舗展開につきましては、店舗数は、直営店415店舗(前年同期比30店舗減)となり、業態別には「幸楽苑」414店舗、「KOURAKUEN THE RAMEN CAFE」1店舗となりました。

この結果、売上高は17,902百万円(前年同期比33.7%減)となりました。

② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業(ラーメン業態のフランチャイズ展開)、その他外食事業(洋和食業態の店舗展開)を行っております。

フランチャイズ事業につきましては、店舗数は17店舗(国内12店舗、海外5店舗)となりました。その他外食事業につきましては、「いきなり!ステーキ」直営店6店舗、「焼肉ライク」直営店10店舗、「からやま」直営店7店舗、「赤から」直営店5店舗となりました。

この結果、その他の事業の売上高は2,265百万円(前年同期比13.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,045百万円増加し、4,855百万円となりました。これは、現金及び預金が1,884百万円、売掛金が179百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて171百万円減少し、12,374百万円となりました。これは、建物及び構築物が254百万円、リース資産が160百万円、敷金及び保証金が240百万円減少し、投資その他の資産「その他」に含まれる繰延税金資産が575百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,873百万円増加し、17,230百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,524百万円増加し、8,402百万円となりました。これは、短期借入金が1,000百万円、未払費用が966百万円、流動負債「その他」に含まれる未払消費税等が775百万円増加し、店舗閉鎖損失引当金が206百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて338百万円増加し、5,883百万円となりました。これは、長期借入金が560百万円増加し、固定負債「その他」に含まれるリース債務が81百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,862百万円増加し、14,285百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて988百万円減少し、2,944百万円となりました。これは、利益剰余金が1,046百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月4日公表の連結業績予想から変更はございません。

なお、連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,697,906	3,581,996
売掛金	285,017	464,501
たな卸資産	280,230	323,325
その他	547,143	486,076
流動資産合計	2,810,297	4,855,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,324,591	4,069,898
土地	1,363,012	1,363,012
リース資産(純額)	2,220,605	2,060,530
その他(純額)	274,394	238,617
有形固定資産合計	8,182,604	7,732,059
無形固定資産	178,463	160,231
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,084,849	1,844,032
その他	2,101,531	2,639,495
貸倒引当金	△1,380	△1,380
投資その他の資産合計	4,185,000	4,482,147
固定資産合計	12,546,068	12,374,439
資産合計	15,356,366	17,230,339
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,024,167	977,375
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	748,782	927,113
未払費用	1,180,356	2,146,799
未払法人税等	109,492	64,337
店舗閉鎖損失引当金	265,438	58,673
転貸損失引当金	22,115	18,581
販売促進引当金	—	26,456
その他	2,527,823	3,182,922
流動負債合計	5,878,176	8,402,259
固定負債		
長期借入金	2,216,347	2,776,429
退職給付に係る負債	322,157	324,904
転貸損失引当金	54,655	25,690
資産除去債務	801,377	772,273
その他	2,150,128	1,983,819
固定負債合計	5,544,666	5,883,117
負債合計	11,422,842	14,285,377

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,988,273	2,988,273
資本剰余金	3,084,016	3,084,016
利益剰余金	440,395	△605,989
自己株式	△2,414,791	△2,403,151
株主資本合計	4,097,893	3,063,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	797	1,578
退職給付に係る調整累計額	△165,167	△119,764
その他の包括利益累計額合計	△164,370	△118,185
非支配株主持分	—	—
純資産合計	3,933,523	2,944,962
負債純資産合計	15,356,366	17,230,339

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	29,589,508	20,167,825
売上原価	8,341,578	5,863,398
売上総利益	21,247,930	14,304,427
販売費及び一般管理費	20,808,644	15,620,379
営業利益又は営業損失(△)	439,285	△1,315,951
営業外収益		
受取利息	11,128	11,681
固定資産賃貸料	388,249	375,712
その他	190,082	163,750
営業外収益合計	589,460	551,144
営業外費用		
支払利息	34,576	40,991
固定資産賃貸費用	358,741	336,542
その他	25,117	97,252
営業外費用合計	418,436	474,786
経常利益又は経常損失(△)	610,309	△1,239,593
特別利益		
受取保険金	567,598	51,434
その他	43,564	85,654
特別利益合計	611,163	137,088
特別損失		
減損損失	431,599	384,506
災害による損失	299,308	—
その他	362,514	118,659
特別損失合計	1,093,423	503,165
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	128,048	△1,605,669
法人税、住民税及び事業税	145,880	35,595
法人税等調整額	78,489	△594,880
法人税等合計	224,369	△559,284
四半期純損失(△)	△96,321	△1,046,384
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△96,321	△1,046,384

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△96,321	△1,046,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	676	781
退職給付に係る調整額	53,024	45,402
その他の包括利益合計	53,700	46,184
四半期包括利益	△42,620	△1,000,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△42,620	△1,000,200
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(コロナウイルス関連)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年4月に日本全国を対象に緊急事態宣言が発出されたことを受け、当社グループにおいては、来店お客様数の減少、店舗の休業及び営業時間の短縮等により売上高が減少しております。5月に緊急事態宣言が解除されたものの、外出自粛や国内景気の低迷などの影響が一定期間継続することが想定されます。

新型コロナウイルス感染症の影響については、2020年4月の既存店売上高が前年同月比50.0%であったものの、7月74.5%、8月72.6%、9月77.9%と一定の回復の兆しが顕れました。一方で感染症の収束時期が明確に見込めないことから、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、感染症による影響が2020年12月頃までに回復するとの仮定を第2四半期連結会計期間において変更し、状況は改善するものの当連結会計年度末以後も一定期間はこの状況が継続すると仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断や固定資産の減損損失の認識要否の判断を行っております。

なお、当第3四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響に関する仮定について重要な変更はありません。

3. その他

(1) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2020年2月以降の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、4月に日本全国を対象に緊急事態宣言が発出されたことを受けて、店舗の休業や営業時間短縮を行った結果、4月の既存店売上高は前年同月比50.0%と減少しました。12月の既存店売上高では前年同月比が約25%減少の水準に回復しておりますが、大幅に売上高が減少していることにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。また、これにより当連結会計年度において当期純損失を計上する見込みであり、金融機関との間で締結しているシンジケート・ローン契約に付されている財務制限条項に抵触する恐れがありました。

このような状況に対して、イトイン以外での商品提供の拡充、新規事業の立上げ及び、人件費を含めての固定費の削減等を実施するとともに、金融機関に対して業績回復に向けた施策を説明し、契約の更新及び取引の継続に向けて協議を進めて参りました。その結果、2021年1月13日時点で、関係金融機関より当連結会計年度に関しては財務制限条項を適用しない旨の書面による承諾を得たことにより、十分な運転資金が確保できたことから、資金面での問題は解消したと判断しております。

以上の状況により、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

(2) 販売の状況

① 品目別販売実績

(単位：千円)

品目	前第3四半期 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日		当第3四半期 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日		(参考)前期 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日	
	売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比
直営店売上		%		%		%
らーめん類	17,824,102	60.2	10,388,774	51.5	22,791,650	59.6
セット類	4,816,641	16.3	4,032,075	20.0	6,165,382	16.1
ギョーザ	2,289,609	7.7	1,407,926	7.0	2,940,824	7.7
ごはん類	881,730	3.0	682,241	3.4	1,130,047	3.0
ドリンク類	661,468	2.2	416,371	2.1	851,566	2.2
洋・和食類	1,904,106	6.4	1,468,816	7.3	2,680,175	7.0
その他	755,378	2.6	1,397,994	6.9	1,090,810	2.9
計	29,133,038	98.4	19,794,201	98.2	37,650,456	98.5
FC店等材料売上	398,292	1.4	334,807	1.7	513,871	1.3
ロイヤリティ収入	49,223	0.2	29,723	0.1	62,588	0.2
その他	8,954	0.0	9,093	0.0	10,789	0.0
合計	29,589,508	100.0	20,167,825	100.0	38,237,705	100.0

(注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

② 地域別販売実績

(単位：千円)

地域別	前第3四半期 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日			当第3四半期 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日			(参考)前期 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日		
	売上高	百分比	期末店舗数	売上高	百分比	期末店舗数	売上高	百分比	期末店舗数
東北	9,197,620	31.6	147	6,878,229	34.7	142	12,048,155	32.0	144
関東	14,569,968	50.0	259	10,184,801	51.5	247	18,981,286	50.4	259
東海	2,749,218	9.4	25	869,227	4.4	17	3,206,434	8.5	20
北陸甲信越	2,186,678	7.5	37	1,482,038	7.5	34	2,822,435	7.5	37
関西	429,552	1.5	7	379,903	1.9	3	592,143	1.6	5
計	29,133,038	100.0	475	19,794,201	100.0	443	37,650,456	100.0	465

(注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。